

科目名	スポーツ自由研究D							年度	2026
英語科目名	Sports Freedom Research D							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 テニスコース 2年次	必/選	選※	時間数	30	単位数	1	種別	実習
担当教員	柳田	教員の実務経験		有	実務経験の職種		日本スポーツ協会公認テニスコーチ4		
<b>【科目の目的】</b> 紅華祭およびスポーツ・医療カレッジのイベントにおいて、スタッフ等のボランティア活動を行い、主体的にイベント運営に携わることを目的とする。									
<b>【科目の概要】</b> スポーツに関することを様々な角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。									
<b>【到達目標】</b> 学生が1つの事柄の成功に向かって、準備～撤収までを協力して行うことを目標にしています。①体育祭などを通じて、スポーツカレッジが担う業務・運営を行い、成功に導くことを目標にしています。②スポーツ活動・スポーツイベントにおけるボランティア活動（スタッフ実務など）を行い、スポーツの理解を深めることを目標としています。									
<b>【授業の注意点】</b> 授業時数の4分の3以上出席しない者は評価をすることができません。紅華祭は、スポーツ・医療カレッジだけではなく、日本工学院八王子専門学校全体の行事です。科目履修としてだけではなく、学内活動の参加として積極的に行動してください。スポーツ活動やスポーツイベントは、様々な方と関わりますので、積極的な態度で行動してください。※スポーツ自由研究Bを取得した学生は、グループをまとめるなどリーダー的な役割を担ってまいります。□									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	イベントの成功に向け、スケジュールを逆算し、計画的な行動をすることができる		イベントの成功に向け、スケジュールを逆算した行動をすることができる		イベントの成功に向け、行動をすることができる				
到達目標 B	イベントの成功に向け、自身の成長に向き合い、主体的に役割を果たすことができる		イベントの成功に向け、少しだけ主体的に役割を果たすことができる		イベントの成功に向け、指示を受ければ、役割を果たすことができる				
到達目標 C									
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b> 特になし									
<b>【参考資料】</b>									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 積極的な参加態度で評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		スポーツ自由研究D			年度	2026
英語表記		Sports Freedom Research D			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	オリエンテーション	1 イベント内容の確認	イベントの概要を知り、イベント実施内容とスケジュールを確認します	3	
			2 スケジュールの確認			
2	イベントの企画	イベントの企画立案作業	1 企画案の募集	企画の案出し作業をグループワークで行います	3	
3			1 企画案のプレゼン準備	企画案のプレゼン準備をグループワークで行います	3	
4			1 企画案のプレゼン	グループで企画案のプレゼンを行い、コンペ方式で提案します	3	
5			1 企画案の選定と準備計画	採用された企画案の準備計画をグループワークで決定します	3	
6						3
7				3		
8				3		
9	イベントの準備活動	イベントの準備活動	1 イベントの準備活動	準備計画に基づいてイベントの準備活動を実施します	3	
10				3		
11				3		
12				3		
13	イベントの実施	イベントの実施	1 イベントの実施	イベント当日、企画案および準備計画に基づきイベントを実施します	3	
14					3	
15	まとめ	イベントのまとめと振り返り	1 イベントのまとめと振り返り	イベントのまとめと振り返りをグループで行い、反省点を見出し、次のイベントに向けた改善点を洗い出すことができる	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他  
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった  
備考 等